

# Werner Szendi

Startseite	ホーム
Kontakt	コンタクト
Newsletter	ニュースレター
Impressum	インプリント
Banner	バナー
Englisch	英語
Künstlerbiografie	アーティスト・バイオグラフィー
Über sein Werk	作品について
Diashow	フォトギャラリー
Ausstellungen	展示会
In Privatbesitz	個人所有作品
Zum Verkauf:	販売用作品
-erotisch	-エロティック
-real/figurativ	-写実画
-surreal/abstrakt	-抽象画
Presse	PR
Gästebuch	ゲストブック

## Künstlerbiografie

### アーティスト・バイオグラフィー

#### Werner Szendi – freischaffender, internationaler Künstler

#### ヴェルナー・スツェンディ – 国際的なフリーランス・アーティスト

ヴェルナー・スツェンディ(1966年、オーストリア・ギュッシング生まれ)は現在、ウィーンにて制作活動中。16歳から美術に才能を発揮。青年期からいくつかの教会の宗教画に携わったことから、伝統的なテクニックを身につけた。彼の作品には、鉛筆、水彩、アクリル、油彩、金箔、石、そしてメンタルでスピリチュアルなエネルギーなどを用いる。

色彩学も深く学んだことから、正しい色彩を選ぶことがどのように人々に影響を与えるかを熟知しており、注文を受けて絵画を制作するときは、その人物個別の内なる要求にこたえられる色彩を用いる。

# Werner Szendi

彼の用いる光と影のテクニックは、その作品に調和と平和をもたらす。

球体は彼の作品にとって特別な意味があり、その作品にも集中的にこの素材を使用する。球体は宇宙のシンボルであり、また地上の権力のシンボルでもある。

ヴェルナー・スツェンディはその作品を通して、自由、平和、愛そしてヒーリングのメッセージを世界に伝えようとしている。

## **Bilder, die Seele und Geist berühren:**

### **心の琴線に触れる絵画:**

人々の魂に深く訴えかける作品を制作するために、自分自身の五感だけを使っているだけではダメだということがわかった。この両眼で見るものだけでなく、精神的な目を通して世界を見ないといけない。永遠に残るアートを作り出すためには、神性とつながる必要があるし、神のエLEMENTを受け取り、これを作品に転化させる。祈り、瞑想などがクリエイティブな仕事には必要だ。そうしてこそ、それを鑑賞する人の魂を癒すエネルギーを持ったアートを生み出すことができる。

## **Über sein Werk**

### **作品について**

## **Inspiration – ein schöpferischer Augenblick**

### **インスピレーション – クリエイティブな瞬間**

「描くというのはぼくにとって、クリエイティブなプロセスだ。いつもなにかを作り出す瞬間には、ぼくの人生の中でもなにかが動き出す。これらの瞬間を認識し、経験とインスピレーションを変換させることは、すべてのアーティストにとって必要不可欠だ。ぼくが使用する道具は、三脚とキャンバス。その白い画布の上に描き出していく時には、決まったスタイルや決まった絵画テクニックにはとらわれない。宇宙そのもののような人生が制限されず、それどころか拡充していくように、絵を描くというぼくのクリエイティブな行動は、常に新しい自分自身を発見する旅のようだ。瞑想と反映はふたつでひとつ。そして何よりも、深い喜びに満ちた人生の表現だ。だからぼくは、自分の作品を、それを鑑賞する人の内部に発見されるヒーリング・エネルギーを導くものとしてとらえている」

## **Welt – & Kunstverständnis**

### **世界の、そしてアートの理解**

# Werner Szendi

ヴェルナー・スツェンディは、幼い頃からクリエイティブな表現をすることで、アートを体現していた。「16歳の頃から、アートの制作はぼくの人生の中で重要な意味を持っていた。ぼくの家族やまわりの環境が、ぼくのアーティストとしての天性を認めて協力してくれたのには、非常に感謝している。今日に至るまで、ぼくの人生のパートナーは、ぼくの画家としての存在をサポートし、ほとんどすべての作品の誕生の瞬間をライブで体験している。彼女はぼくにとって、全てのアーティストがそのかたわらにいてほしいと願っているミューズだ。建設的な批評家として、ぼくの作品の最初の鑑賞者として、また時に作品名をつける際の助力者として、彼女はすばらしい役割を果たしてくれる」と、スツェンディ。「この宇宙の全ての存在は、まず名前を与えられることによってその生命を呼び起こされる。制作物はそれに名前が与えられることにより、個々のアイデンティティーを得る」そういうわけで、彼の作品はすべて名前がつけられてから、アトリエを後にする。「作品名やタイトルは、それを鑑賞する人にとっての示唆ともいえるね」と、彼はさらに続けた。

## Sichtbare Materialien & mentale Energie

### 目に見えるマテリアルとメンタルなエネルギー

アーティスト、ヴェルナー・スツェンディは目に見えるマテリアルだけで絵を描くのではない。「ぼくには決まったスタイルやマテリアル、表現方法というのは必要ない」ただ、オーストリア出身の画家は、自分自身をどちらかという、イタリアン・ルネッサンスの継承者とみている。彼は、目に見えるものと目に見えないもの、両方のマテリアルを使用する。彼の作品上で我々の肉眼に見えるのは、鉛筆、アクリル絵の具、油絵の具、金箔、半貴石などといったものだが、我々の精神的な眼には、スツェンディがその作品の中に吹き込んだスピリチュアルなエネルギーが見える。そういうわけで、彼が注文を受ける作品の多くは、健康管理組織からで、医師やハイルプラクティカー（自然療法士）の診療所の入り口などにかけている。

## Künstlerbiografie

### アーティスト・バイオグラフィー

オーストリア生まれのアーティスト、ヴェルナー・スツェンディは、1966年、ブルゲンランド州のギュッシングという土地で生まれ、幼少期を瞑想的な刺激にあふれた美しい土地であるブルゲンランド州南部で過ごす。彼のアーティストとしての才能は早くから花開き、18歳の時にはすでに土地の教会のいくつかから、委託されて絵画を制作していた。宗教的な絵画を描くことにより、この若いアーティストは伝統的なマイスターの技法を見につけることとなった。レオナルド・ダヴィンチやミケランジェロ・ブオナロッチェなどといったアーティストの魂は、スツェンディの作品の中にいまも息づいている。1990年代に入り、スツェンディは複数のスタイルや技法を試し、さまざまなテーマについて制

## Werner Szendi

作を続けた。ウィーンへの転居の後、オーストリア国内とトルコでの大きな展覧会への参加、国内外でのアートメッセへの参加などが続いている。現在のプロジェクトとしては、ドイツおよびドバイなどのアラブ地域での展覧会を企画中。彼はまた、ソーシャル・プロジェクト(<http://projekalice.org>)のサポーターでもあり、作品を公の場で公開もしている([www.radissonblu.de/palaishotel/vienna](http://www.radissonblu.de/palaishotel/vienna))。彼の作品の多くは、書籍の装丁、ポスターのイラスト、ミュージカルやその他のイベントの会場などで使用されている。2005年には、名のあるスイスのアート賞であるARS NOVA SUISSEを受賞。現在ウィーン在住。

Texte: Romana Kanzian

テキスト: ロマーナ・カンツィアン(翻訳: 神谷千代)

DANKE für die Japanisch-Übersetzung!

**Chiyo 千代 Kamiya 神谷**



**Japan Concept**  
Intercultural Management

**Japan Concept**      ジャパン・コンセプト

Eggmuehler Str. 4

80993 Munich, Germany

Tel: +49-(0)89 2354 7307

Fax: +49-(0)89 33 75 77

Email: [c.kamiya\(at\)japanconcept.de](mailto:c.kamiya@japanconcept.de)

<http://www.japanconcept.de/>

[www.szendi.at](http://www.szendi.at)